

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2024年10月16日発行 【再刊第27号】

今号の話題

- 千歳のまちの航空祭開催
展示飛行が会場沸かせる
- インディアン水車まつり開催
千歳に秋到来、サケ鍋好評
- オータムフェストでチップ発信
札幌でも塩焼き人気

観光連盟は9月21～23日、宮崎市内のホテル、シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートで「秋の北海道グルメうまいっしょフェア」を開催しました。同市内でのフェア開催は3回目。千歳産のギョーザや新鮮野菜、支笏湖チップのフライなどが販売され、会場はにぎわいを見せました。

(株)AIRDO(札幌市)と(株)ソラシドエア(宮崎市)による2



フェアに列をつくる来場者

秋の北海道うまいっしょフェア

宮崎で道産の魅力を発信

リピート買いのお客様も 学び活かして次年度へ

021年10月の持ち株会社設立を機に始まった、両社と連携して千歳・北海道と宮崎県の交流人口拡大を目指す事業です。

天のびろく、タクミナフード、恵千フーズ、Grinなどが出店。千歳市公設地方卸売市場、もりもと、バルナバフーズ、ポロピナイ



ジャガイモ詰め放題コーナーで夢中になる来場者

カンパニーが協力しました。千歳産のトウモロコシやジャガイモは人気で、品質の良さが評価されたことでリピート買いのお客様さまが目につきました。初展開のチップフライも1日100本限定販売として、5日分をほぼ売り切る人気となりました。

3年間の継続により、参加した千歳市内の事業者間をはじめ、宮崎県内の関係機関や航空会社とのネットワーク構築にもつながっています。北海道・千歳の認知度向上にも一定の効果がみられています。観光連盟では、今回のフェア開催で得られた反省点や学びになった点を次に生かし、次年度以降の事業化に向けて検討していきます。

練成した飛行で観衆を魅了

千歳のまちの航空祭、5万人超が来場

ブルーインパルスの曲技、F15デモ緊急発進など

「千歳のまちの航空祭」が9月15日、航空自衛隊千歳基地を主会場に開かれました。空自松島基地所属の練習機「ブルーインパルス」が曲技飛行で会場を沸かせたほか、F15戦闘機による編隊飛行などが、道内外から訪れた約5万3千人を引きつけました。

基地内の会場ではブルーインパルスのT4練習機やF15戦闘機など12種類約30機が地上展示。上空ではF15戦闘機によるオープニングフライトを皮切りに、政府専用機（B-777）をはじめとした空自機がフライトを披露。F15のデモスクランブルや、救難訓練などが注目を集めました。

F15による機動飛行では、大空



F15などの異機種混成飛行も行なわれました

を縦横無尽に飛行する技術が来場者を魅了。パイロットの日ごろの錬成の成果を見ることができました。ブルーインパルスの飛行では、白煙をたなびかせた6機が一糸乱れぬ編隊での華麗なフライトでファンが歓声を上げ、熱心にカメラのシャッターを切るファンや、

笑顔で空を見上げる家族連れの姿がありました。

会場ではキッズトレインが運行して子どもたちが楽しんだほか、警備犬の訓練展示やヨサコイソランの演舞が会場を盛り上げました。

グリーンベルト会場でも北部航空音楽隊による演奏会やブルーインパルスのパイロットによるサイン会などが催されるなど、中心市街地にもにぎわいがもたらされました。



ブルーインパルスの飛行が観衆を引きつけました

ヒグマにご注意を

千歳市内でもヒグマの目撃情報
が関係機関に寄せられています。
秋の行楽や山や湖でのアクティビ
ティ、そしてきのこ採りのシーズ
ンですので、ヒグマに遭遇しない
よう、ご注意ください。
▽鈴やラジオを鳴らしてこちら
がいることを知らせる▽早朝や夕
方には山や森に入らない▽残飯や
食べ物の味やにおいのついた包装
紙などを山野に放置しない▽単独
で山には入らず、複数で行くなど
の対応が求められます。

千歳市内は豊かな
自然に恵まれてお
り、観光や行楽のス
ポットとなっていま
す。美笹キャンプ場
など支笏湖地域でも
目撃情報があるた
め、来訪の際は十分
な注意の上でスポッ
トを満喫してくださ
い。

秋の千歳川を満喫

**インディアン水車まつり開催
サケ鍋、いくら丼好評、釣り堀も人気**

千歳の秋を盛り上げる、恒例の第45回インディアン水車まつりが9月21、22日、道の駅サーモンパーク千歳イベント広場で開かれました。同実行委主催、観光連盟後援。



サケ鍋やいくら丼などが人気を集めました

会場の特設ステージでは両日、エレクトーンや千歳機甲太鼓、陸上自衛隊第1特科団音楽隊の演奏をはじめ、サモンくんが登場してのクイズ大会と写真撮影会、千歳アイヌ文化伝承保存会によるアイヌ古式舞踊の披露など、多彩な企画が来場者を楽しませました。秋の味覚として販売した恒例のいくら丼、サーモンいくら丼は人気を集めたほか、サケ鍋の売れ行きも好調で、用意した1500杯が初日で完売するほどでした。ヤマメの釣り堀も家族連れに人気だったほか、サケ皮のクラフトづくりコーナーもにぎわいを見せました。



釣りに夢中になる親子が多く見られました

支笏湖チップの美味しさ発信

**さっぽろオータムフェスト
塩焼き販売、ビールのお供に舌鼓**

札幌市中央区の大通公園で開催された「さっぽろオータムフェスト」で、支笏湖漁協が支笏湖チップの塩焼きを販売しました。9月13～17日の期間中、約5000本を完売する人気となりました。

フェスト参加は2年連続。支笏湖チップは6～8月の解禁時期に釣り上げられたものです。体長27、28センチで、串を打たれた支笏湖チップが会場内のブースに設けたこんろの炭火で焼き上げられると、炭火焼の風味とあいまって香ばしい匂いが周囲に漂いました。支笏湖チップ1尾をそのままの姿で焼くという野趣は注目を集め、若いカップルから高齢



支笏湖漁協の売り場は注目の的でした。

者までが足を止める姿が見られました。

支笏湖チップは支笏湖漁協がふ化・増殖事業を担っており、千歳の有数の観光資源の一つです。知名度のさらなる向上で、札幌圏の皆さまが支笏湖に足を運び、支笏湖チップを賞味いただき、一緒に宿泊や買い物、観光も楽しんでいただけるよう、観光連盟でも周知に取り組んでいます。

秋の支笏湖でマラソン満喫

森林スポーツフェスタ in 支笏湖 ツリーイング、おが粉アートも人気集める

「北海道森林スポーツフェスタ in 支笏湖 2024」が9月29日、支笏湖小学校のグラウンドや支笏湖温泉の園地などを主会場に開催されました。同実行委の主催。千歳観光連盟後援。約210人が森林

マラソン2キロ、同10キロ、ノルディックウォーキングの各種目に参加。秋晴れの大自然の中で大いに体を動かして楽しみました。

千歳市は「ゼロ・カーボンシティ」を宣言し、支笏湖地区も2022年3月に「ゼロカーボンパーク」として環境省に登録されています。大会は「ゼロ・カーボン」をテーマにスポーツや遊びを楽しみながら環境保全と自然保護意識を高め、持続可能な社会の在

り方を考えてもらう目的です。一般財団法人セブン・イレブン記念財団の特別協賛で開催し、実行委員長は、観光連盟会長の小田賢一が務めました。



号砲とともにスタートを切る出場者

支笏湖小学校グラウンドはマラソンのスタート・ゴール地点となりました。小田会長や同財団北海道地区評議員の増田靖士様の号砲で、各種目の参加者がスタート。支笏湖園地ではロープを使った木登り「ツリーイング」や廃棄食品で作られた粘土体験、おが粉アート、ネイチャークラフト体験も行なわれました。

イベント情報

▼第4回鮭の日・アイヌフェスタ！(2024年11月9、10日、サケのふるさと千歳水族館、道の駅サーモンパーク千歳) 千歳アイヌ協会、千歳アイヌ文化伝承保存会主催。同水族館と道の駅が協力。マレク漁の実演・体験や古式舞踊の披露、鹿角や木彫りのワークショップを行います。

▼千歳・支笏湖氷濤まつり(氷の美術館(2025年2月1日) 24日、千歳市・支笏湖温泉園地) 例年、約30基の氷像が登場し、昼間の支笏湖ブルーの輝き、夜間の色とりどりにライトアップされた景色が来場者を楽しませます。国内屈指の透明度を誇る支笏湖の水で作る氷像群の美しさは道内外の観光客から人気で、千歳を代表するまつりのひとつです。

編集後記

青葉公園をを歩くと、甘い香り。カツラの落ち葉からでる香気成分なのだそう。枯れた葉からにじむ匂いは、秋の森の香りと言えるでしょう。

「樹木たちの知られざる生活」(ペーター・ヴォーラーベン、早川書房)によると、アフリカのサバンナではキリンに葉を食べられたアカシアが、芳香成分を発散して周辺のアカシアに注意を呼びかけ、情報を受け取ったアカシアは葉に有毒物質を集め、被害を防ぐとのこと。

匂いで仲間に注意を呼びかけるアカシア。ではカツラはなぜ甘い香りを出すのだろうか。そんなことを考えながら、ぼんやり歩く秋の森。紅葉も美しくなりつつある、千歳の秋です。